

医学生に対するシミュレーション実習の学修効果に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年7月20日～2025年3月31日

〔研究課題〕

医学部5年生におけるシミュレーション実習の学修効果に関するアンケート調査

〔研究目的〕

医学部では座学で獲得した知識を臨床に統合することを目的として、病院での臨床実習が行われます。しかしながら短期間で医学生が経験できる症例数は限られるため、不足した経験を補完する学修機会が必要となります。シミュレーション実習は不足した経験を補う学修ツールとして行われていますが、その学修効果に関する知見は十分ではありません。本研究は、シミュレーション実習の学修効果の評価を目的としています。

〔研究意義〕

シミュレーション実習が実臨床の経験不足を補うのに有効であるかがわかります。更に現在行われているシミュレーション実習の課題が抽出され、より学修効果の高い実習の運用へとつながることが期待されます。

〔対象・研究方法〕

2022年度に総合内科BSLでシミュレーション実習に参加した帝京大学医学部5年生を対象とし、実習前後で臨床能力(知識、技能、態度)の向上を実感したか、シミュレーション実習が実臨床の経験を補完するか、などについて、学生の主観的評価を調査します。本研究はシミュレーション実習中に実施した無記名自記式のアンケート調査であり、個人は特定されません。回答内容は、学生の成績に一切影響しません。本調査は無記名アンケートを用いるため、提出後の拒否申し立てはできません。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部内科学講座、帝京大学医学部医学教育学講座、帝京大学医学部救急医学講座

〔個人情報の取り扱い〕

収集したデータは学内の規定に従い、学内の施錠可能な場所に保管します。収集したデータは当該論文等の発表後10年間の保管とし、電子データはメタデータの整理・管理と適切なバックアップの作成により再利用可能な形で保存します。保存期間の10年を経過した後、収集したデータは責任をもってすべて廃棄します。電子データについては、米国家安全保障局推奨方式にて消去します。

対象学生の方へ ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:阿部浩一郎 講師

研究分担者:山本貴嗣 教授

所属:帝京大学医学部内科学講座

住所:東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)〔内線 7055〕